

令和 5 (2023)年度 事業報告について

令和 5 (2023)年度は、「『白門魂でコロナを吹き飛ばす』」との気概で奮闘する支部組織や学员、更には大学や学生たちとも一致団結して、「アフターコロナを見据えたニューノーマル社会に適応し得る新たな学员会活動の基盤構築に向けての確実な第一歩を踏み出す。」基本指針のもと、以下の事業を行った。

【令和 5 (2023)年度重点事業の実績】

1. 本部に関する事業：学员会の活性化：支部活動応援

本部内に「支部活動応援 WG」を立ち上げ、「支部の活動状況アンケート」を行ったところ 251 支部中 132 支部から回答があった（回答率：52.6%）。回答の中からコロナ禍での支部活動の工夫点を取りまとめて「事例集」を作成し、各支部にフィードバックを行った。

また、①コロナ過での会議の持ち方、②若手等新規会員の確保・増強、③財政支援、④Zoom 等への対応、⑤会議室の確保、等の課題が抽出されたため、まずは当年度に「支部支援特別給付」を行い、次年度は「支部活動支援費」の申請要件緩和による支部への財政支援を行うとともに、他の課題への対応にも着手することとした。

2. 広報に関する事業：学员会広報：『学员時報』の電子媒体とのハイブリッド運用の検討と実施

令和 6 (2024)年 3 月、学员会の機関紙『学员時報』の Web サイトである『学员時報オンライン』のリニューアルを行った。

5 か年計画の初年度として、①主要ページをスマホ対応に変換、②過去の記事を「アーカイブ」として残すための再整理、③学员会のポータルサイトとするためのコンテンツの充実を図った。今後は情報発信アプリについて検討し、導入・運用を始める予定である。

3. 学员に関する事業：若手・女性：CBS 講座受講料補助

駿河台キャンパスに拠点を置く中央大学ビジネススクール戦略経営アカデミーが開講している「CBS ビジネスプランニング～新たな事業をデザインする～」(新藤晴臣教授、全 4 回、受講料 44,000 円)について、学员会機関紙『学员時報』第 523 号においての受講料半額補助を募集したところ 3 人の応募があった。講座終了後には学员会若手学员委員会主催の「異業種交歓会」で受講報告を行った。

4. 大学に関する事業：大学支援：ホームカミングデーへの協賛

主催者の大学はコロナ前に全卒業生だった対象者を、卒業 25 年目、50 年目に絞ることを模索していたが、学员会選出運営委員の働きかけで全卒業生対象は堅持した。ただし、この調整に時間を要し準備期間が実質 2 か月半しか設けられず、準備不足は否めなかった。

「禁酒」の英断に賛否はあったが当日は混乱もなく、多摩と駿河台の 2 キャンパス開催には「一体感の欠如」の指摘もあったが駿河台世代である卒業 50 年目の招待年次には好評だった。

5. 学生に関する事業：学生支援：学生ボランティア支援

コロナ禍により中断していた中央大学ボランティアセンターに対する白門支援金からの資金援助（主に交通費、宿泊費の補助）を再開した。さらに、7 月中旬に発生した集中豪雨被災地の復旧活動へのボランティア派遣に伴う追加の資金援助の要望についても対応した。

【令和5(2023)年度学会事業報告：基本事業の実績】

事業	個別計画	実績	
学員に関する事業	(1)学員表彰	永年在任学員表彰	●4月13日の選考委員会を経て、5月20日に表彰を行った。10人
		推薦学員	●4月13日の選考委員会を経て、5月15日の中央大学理事会で承認した。18人
		学員栄誉賞	●令和5(2023)年度は該当なし。
		学員薫風賞	●10月29日開催の中央大学ホームカミングデーの際に授賞式を行った。 中島土氏(元日本青年会議所会頭) 江村美咲選手(フェンシング選手)
		学員会会長賞・会長奨励賞	●スポーツ分野の学員について、学員体育会会長の推薦に基づき、2月22日の会長・副会長会議で承認した。 <会長賞> 個人(5万円)18件
	(2)学員サービス	学員カード交付	●既卒入会者、代理徴収者への新規発行及び再発行分として6460件交付した。
		学員交流行事	●令和5(2023)年度は実績なし。
		白門サロン	●東京：4月、駿河台キャンパス19階に「白門サロン」を開設した。 ●大阪：近畿白門サロン(ガーデンシティクラブ大阪)
		会議室貸出	●4月、駿河台キャンパス18階に貸出用会議室2室を開設した(フリーWi-Fi設置)。
		大学スポーツ応援	●大学スポーツの観戦チケットを配付した。 東都大学野球チケット補助628件 ●大学スポーツ応援グッズを製作し、学員体育会に提供した。
		学生文化活動応援	●令和5(2023)年度は開催できなかった。
		白門ゴルフ	●令和5(2023)年度は中止。令和6(2024)年度は9月に開催予定。
		『学員時報』中央俳壇	●年4回発行の『学員時報』での「中央俳壇」という投稿コーナーを継続している。
		白門駅伝	●11月4日、4年ぶりに多摩キャンパス陸上競技場にてリアル開催した。参加者：341人
		白門ハイクラリー【追加】	●11月3日、多摩「かたらいの路」を利用して初開催した。参加者：141人
		(3)若手・女性学員	学員交流行事(若手・女性)
	オンライン・ミーティング		●令和5(2023)年度は実績なし。
	CBS講座受講料補助		●若手学員(平成以降卒業)対象に、12月開講の中央大学ビジネススクール講座の受講料を半額補助し、令和6(2024)年1月20日に報告会を開催した。受講者：3人

事業		個別計画	実績
支部に関する事業	(1)支部活動支援	支部活動支援	●支部活動支援費支給 基準額 5 万円：14 支部 3 年継続 10 万円：85 支部 合計 99 支部 昨年 85 支部
		支部 Web サイト開設支援	●新規開設時のみ 5 万円補助：2 支部
		支部「進路(就職)相談会」開催補助	●10 万円を上限に補助：7 支部
		支部「講演会」講師料補助	●2 万円を上限に補助：20 支部
		支部「記念誌」発行補助	●10 万円を上限に補助：3 支部
		学術講演会開催補助、 支部特別給付【追加】	●10 万円を上限に補助：34 支部 ●支部活動応援事業で行ったアンケートの結果を受けて、申請支部に対して「特別給付金」を支給した。：134 支部
		(2)ネットワーク強化	地域ブロック交流
	ブロック旗贈呈		●地域ブロック結成時にブロック旗を贈呈している。
	大学知名度向上貢献地域交流補助		●10 万円を上限：3 件 ●50 万円を上限：4 件
	(3)新支部結成	支部新規結成支援	●支部結成時に 15 万円補助：2 件
支部旗贈呈		●支部結成時、支部名変更 1 回に限り支部旗を贈呈：3 件	
大学に関する事業	(1)大学支援	大学の中長期事業計画への協力・支援	●中央大学との関係を密にし、「Chuo Vision 2025」に基づく中央大学の事業を支援することを学会の基本方針としている。
		大学への施設等支援	●令和 5(2023)年度は実績なし。
		大学スポーツ強化支援	●大学主催の「駅伝オンライン企画」に協力した。 ●白門支援金により陸上部を支援している。
		白門飛躍募金活動への協力・支援	●大学の募金推進本部及び募金連絡調整会議に委員を選出している。 ●『学員時報』第 526 号への「白門飛躍募金」振込用紙封入の準備を開始した。
		ホームカミングデー協賛	●第 32 回ホームカミングデーに運営委員(副委員長を含む)と実行委員(委員長・副委員長を含む)を選出した。 ●学会企画を提供した。
		大学の社会貢献活動への協力・支援	●ウクライナ国籍の留学生への入国前日本語教育支援を行った。
	(2)父母連絡会との連携	父母連絡会支部との交流	●地位独自の交流として、就職懇談会や駅伝の合同応援を行っている。
学生に関する事業	(1)学生表彰	学員会会長賞・会長奨励賞	●学長及び学員体育会会長の推薦に基づき、2 月 22 日の会長・副会長会議で承認した。 <学術・文化：会長賞> (5 万円) 個人 2 件、団体 7 件 <学術・文化：奨励賞> (2 万円) 個人 17 件、団体 5 件 <スポーツ：会長賞> 団体(10 万円)2 件、個人(5 万円)14 件

事業		個別計画	実績
学生に関する事業 (続き)	(2)学生支援	卒業生への記念品贈呈	●卒業生に「COACH オリジナルマグカップ」を贈呈した。
		卒業パーティー後援	●令和 5(2023)年度は大学の卒業パーティーが開催されなかった。
		在学生への『学員時報』送付	●2 年次以上の学生の父母宛に、年 4 回『学員時報』を送付した。
		在学生への就職活動対策支援	●学員会主催でクレセント・アカデミーに就職対策講座を開講した。ES 書き方講座：95 人
		白門「学生活動スタートアップ」支援金事業	●学長が推薦する在学生（団体・個人）の活動のスタートアップを支援する事業として、10 万円を上限に助成した。 ●5～6 月募集、7 月選考、7 月末支援金支給、翌年 3 月報告会開催。助成 5 件。
		白門祭への協力	●支援を希望する各キャンパスの白門祭・大学祭の実行委員会に資金を援助した。
		生協年末福引景品提供	●令和 5(2023)年度は実績なし。
		学生ボランティア支援	●大学のボランティアセンターにボランティア活動に伴う交通費の補助を行った。
		ホームカミングデーへの学生参加促進	●多摩会場の「学生活動の部屋」で国際教育寮生や中スポ新聞部の活動報告を行った。
奨学金事業	(1)白門奨学会	公益財団法人白門奨学会への寄附	●学員カードの提携手数料 628,372 円を白門奨学会へ寄付した。
本部に関する事業	(1)学員会運営	協議員会・総会、支部長会議等の会議運営	●5 月 20 日（土）、駿河台キャンパスにて開催した。
		会長・副会長会議開催	●8 月を除く毎月、年間 11 回開催した。
		幹事会開催	●①4 月 13 日,②1 月 18 日,③3 月 21 日に開催した。
		学員名簿管理	●大学の卒業生システムを利用しての管理を継続している。
		学員間連絡ツールの検討	●『学員時報』のアプリを作成する際に当該機能をつけることを検討している。
		会則等の見直し	●諸問題検討 WG で会則の一部改正について検討した。
		事務局整備	●駿河台キャンパスへの引っ越しに伴い什器等を買替えた。
	(2)財政基盤の確立	学員会財政基盤の確立	●会費収入：121,760,000 円 代理徴収：112,220,000 円 既卒者会費：9,540,000 円 ●白門支援金収入：37,287,164 円
	(3)学員会の活性化	学員会費納入の依頼・促進	●協議員改選に伴い、学員会費納入を依頼した。
		支部活動応援	●支部活動応援 WG による活動として、各支部に対してアンケートを実施し分析をした結果、対応策として「特別給付金」制度を設置し、申請支部に支給した。
		年次支部解散後のフォロー	●令和 5(2023)年度は実績なし。

	事業	個別計画	実績
本部に関する事業 (続き)	(3) 学会の活性化(続き)	SDGs 推進	● SDGs ロゴ・アイコンを印刷したクリアファイルを学会ノベルティグッズとして制作した。
	(4) 白門支援金事業	募金、支援事業選定	● 例年通り：『学員時報』の 7 月号、1 月号に振込用紙を封入し支援金の依頼を行った。 ● 支援金の使途は白門支援金事業 WG で検討し、学員支援、学生支援、大学スポーツ等の強化支援の事業費とした。 ● 白門支援金の決算報告は後掲する。
広報に関する事業	(1) 機関紙発行	『学員時報』発行	● デジタル化推進の検討を開始した。 ● 『学員時報』を年 4 回（4・7・10・1 月号、第 522～525 号）発行した。 4 月号：153,500 部 7 月号：223,900 部 10 月号：158,100 部 1 月号：157,500 部 合計 693,000 部 ● 次年度より企画の再編・編集業者を変更することを決定した。
		『学員時報』のデジタル媒体とのハイブリッド運用の検討	● 『学員時報』編集会議において検討している。
	(2) Web サイト運営	Web サイト『学員時報オンライン』	● 令和 6 (2024) 年 3 月に Web サイト『学員時報オンライン』をリニューアルした。
		大学サイト内の学会ページの改訂・保守	● 適宜、対応している。
	(3) 学会広報	学会リーフレット制作	● 例年通り制作した。
		大学広報との連携	● 『学員時報』編集会議委員として大学事務局長と広報室長を迎え、情報共有に努めている。
		学生広報との連携	● 令和 5 (2023) 年度は実績なし。
		キミハルシネマ・フェスティバル	● 多摩キャンパスをロケ地にミュージックビデオを製作し、ホームcomingデー、白門祭で上映した。
VI (ヴィジュアル・アイデンティティ) 推進		● ヴィジュアル・アイデンティティ WG において、検討を継続している。	
大学・父母連・学会での広報誌検討	● 令和 5 (2023) 年度は実績なし。		